

特別勘定運用レポートの見方

<目次>

1. 特別勘定の運用実績について	
(1) 特別勘定 ユニット価格の推移と騰落率の見方	1ページ
(2) 特別勘定 資産総額の内訳の見方	2ページ
2. 投資信託の運用実績について	
(1) バランス型ファンドの運用レポートのページ構成について	3ページ
(2) 投資信託のレポートの見方	4ページ
3. 用語集	5ページ

- 当資料は、特別勘定運用レポート（月次）の見方について説明した資料であり、生命保険の募集および投資信託の勧誘を目的としたものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますので予めご了承ください。
- はなさく生命は、「運用環境の主な状況」などを信頼できると考える情報にもとづき作成していますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。また、「運用実績・状況」に関する内容は、いかなるものも過去の実績であり、将来の運用実績を示唆あるいは保証するものではありません。

商品のご検討にあたっては、「契約締結前交付書面（契約概要・注意喚起情報）」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」をご覧ください。



はなさく生命保険株式会社

〒106-6218 東京都港区六本木3-2-1 六本木グランドタワー18階

<お客様コンタクトセンター>0120-8739-17

<ホームページ> <https://www.life8739.co.jp/>

1. 特別勘定の運用実績について

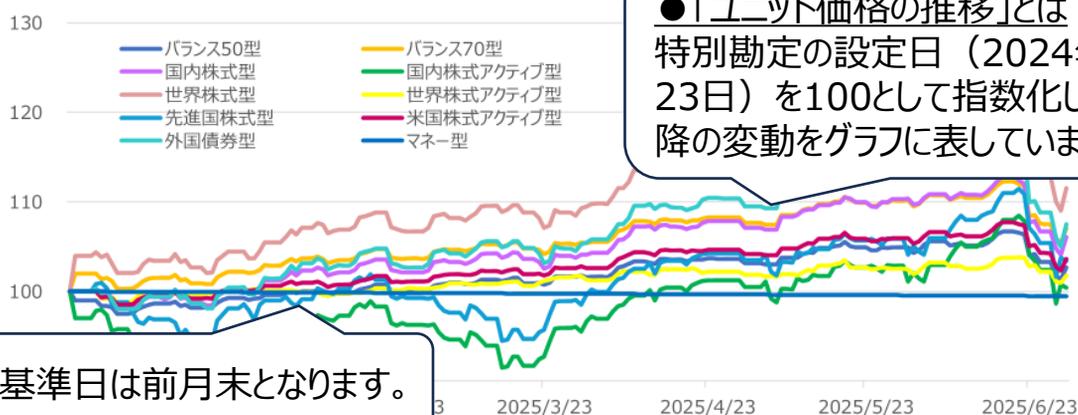
運用レポート 3～4ページ

- 特別勘定の運用実績は、運用レポートの3～4ページでお知らせしています。
- (1) 「特別勘定のユニット価格の推移」については、本ページで説明をしています。
- (2) 「特別勘定資産の内訳」については、次のページでご説明をしています。

(1) 特別勘定のユニット価格の推移（運用レポート3ページ）

■ 特別勘定のユニット価格の推移

※特別勘定の値動きは、投資信託の値動きには反映しない保険関係費用や運用関係費用等の費用を控除することなどを理由として、特別勘定の投資対象である投資信託の値動きとは異なります。



特別勘定名	特別勘定設立日	ユニット価格	騰落率(%) ※3年/5年/設定来の下段は年換算						
			1か月	3か月	6か月	1年	3年	5年	設定来
バランス50型	2024/12/23	100.00	1.01%	-2.02%	3.03%	-4.04%	1.00%	-2.00%	3.00%
バランス70型	2024/12/23	100.00	1.01%	-2.02%	3.03%	-4.04%	0.30%	-0.40%	0.50%
国内株式型	2024/12/23	100.00	1.01%	-2.02%	3.03%	-4.04%	1.00%	-2.00%	3.00%
国内株式アクティブ型	2024/12/23	100.00	1.01%	-2.02%	3.03%	-4.04%	0.30%	-0.40%	0.50%
世界株式型	2024/12/23	100.00	1.01%	-2.02%	3.03%	-4.04%	1.00%	-2.00%	3.00%
世界株式アクティブ型	2024/12/23	100.00	1.01%	-2.02%	3.03%	-4.04%	0.30%	-0.40%	0.50%
先進国株式型	2024/12/23	100.00	1.01%	-2.02%	3.03%	-4.04%	1.00%	-2.00%	3.00%
米国株式アクティブ型	2024/12/23	100.00	1.01%	-2.02%	3.03%	-4.04%	0.30%	-0.40%	0.50%
外国債券型	2024/12/23	100.00	1.01%	-2.02%	3.03%	-4.04%	1.00%	-2.00%	3.00%
マネー型	2024/12/23	100.00	1.01%	-2.02%	3.03%	-4.04%	0.30%	-0.40%	0.50%

●「騰落率」とは

作成基準日（前月末）のユニット価格が、設定来および1か月前・3か月前・6か月前・1年前など、決められた時点と比べ、どれだけ値上がり（値下がり）したかの変動率を表示しています。なお、3年以降の騰落率については年率換算しております。

- ※ユニット価格は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。騰落率は、小数点第3位を四捨五入しています。
- ※ユニット価格とは、各特別勘定の1ユニットあたりの価格をいい、特別勘定の運用実績等に応じて変動します。
- ※特別勘定の設定日（2024年12月23日）を100として指数化し、それ以降の運用成果による増減を表しています。
- ※特別勘定のユニット価格の動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて現預金を保有していること、ユニット価格の計算にあたり保険関係費用等を控除していることによります。

(2)特別勘定資産の内訳（運用レポート4ページ）

●「バランス50型」「バランス70型」「世界株式型」の基本資産配分比率については、特別勘定運用レポートの1ページの「特別勘定の種類」をご参照ください。

作成基準日はレポート発行月の前月末となります。

■ 特別勘定資産の内訳 千円単位

特別勘定名	バランス50型		バランス70型		国内株式型		国内株式アクティブ型		世界株式型	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
現預金・その他	1,000	10.0%	1,000	10.0%	1,000	10.0%	1,000	10.0%	1,000	10.0%
その他有価証券	9,000	90.0%	9,000	90.0%	9,000	90.0%	9,000	90.0%	9,000	90.0%
合計	10,000	100.0%	10,000	100.0%	10,000	100.0%	10,000	100.0%	10,000	100.0%

特別勘定名	世界株式アクティブ型		先進国株式型		米国株式アクティブ型		外国債券型		マネー型	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
現預金・その他	1,000	10.0%	1,000	10.0%	1,000	10.0%	1,000	10.0%	10,000	100.0%
その他有価証券	9,000	90.0%	9,000	90.0%	9,000	90.0%	9,000	90.0%	0	0.0%
合計	10,000	100.0%	10,000	100.0%	10,000	100.0%	10,000	100.0%	10,000	100.0%

●「現預金・その他」とは
実質的な預金の比率を表しています。
解約払戻金等のお支払いや積立金の移転（スイッチング）等に備えて一定の現預金も保有します。

●「その他有価証券等」とは
投資信託の保有比率を表しています。

(2) 投資信託のレポートの見方 (運用レポート16ページ)

以下は、特別勘定レポート16ページの「先進国株式型」：ニッセイ外国株式インデックスSAを例にしてレポートの見方をご説明しています。

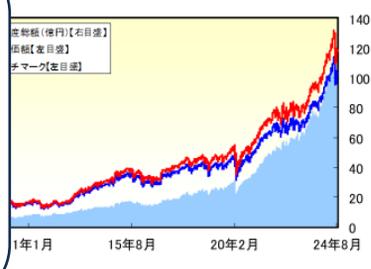
●「設定来の運用実績」のグラフからは、ベンチマークと当ファンドの動きの関係が分かります。インデックスファンドはベンチマークに連動する運用成果をめざします。基準価額は、投資信託の純資産総額を総口数で割ったもので、ファンドの実質的なパフォーマンスを示すものです。また、純資産総額の増加は、当ファンドへの資金流入が継続していることを示しています。

●「基準価額」とは、毎営業日算出される当ファンドの1万口当たりの値段のことです。保有株式の時価総額や配当収入などから運用コストや信託報酬等を差し引き算出されます。当初1万口=1万円で設定され、その後運用成果に応じて変動します。基準価額の推移は左上のグラフで表しています。

特別勘定の名称	投資信託の名称	運用会社
先進国株式型	ニッセイ外国株式インデックスSA (適格機関投資家限定)	ニッセイアセット マネジメント 株式会社
	投資信託の特徴	
主として日本を除く先進国株式に投資を行い、MSCIコクサイ指数（配当込み）をベンチマークとして、為替ヘッジを行いません。		決算ベース）の動きに

●「純資産総額」は、当ファンドの資産規模です。純資産総額の推移は左上のグラフで表しています。

●「騰落率」は、決められたある一定の時点と比べ、投資信託の基準価額がどれだけ上昇（下落）したかを示すものです。当ファンドは為替ヘッジを行っておりませんので、保有株式の動きに加え、為替の動きも反映されています。



◆基準価額・純資産総額

基準価額	51,382円
前月末比	-902円
純資産総額	104億円

◆組入比率

マザーファンド	組入比率	100.0%
先物		-
短期金融資産		0.0%
合計		100.0%

◆資産構成比率

株式	100.0%
先物	0.0%
短期金融資産	0.0%

●「資産構成比」からは、実際のポートフォリオの「株式（うち現物）」と「株式（うち先物）」の割合を示しています。株式（現物資産）と株式先物を上手く組み合わせることでベンチマークに連動した運用を目指します。「短期金融資産」は、銘柄買付あるいは解約に備えるためのものです。

◆運用実績（税引前分配金再投資基準価額の騰落率）

ファンド	1か月間	2か月間	3か月間	6か月間	1年間	2年間	3年間	設定来
ファンド	-1.73%	-7.19%	-1.55%	6.33%	22.38%	48.66%	60.74%	396.73%
ベンチマーク	-1.72%	-7.16%	-1.49%	6.57%	22.85%	49.77%	62.64%	478.72%
差異	-0.01%	-0.03%	-0.06%	-0.24%	-0.47%	-1.11%	-1.90%	-81.99%

・設定来の騰落率は、設定月末(2006年7月31日)を起点として計算しています。
 ・ベンチマーク：MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース)

◆組入上位10カ国

国	ファンド	ベンチマーク
1 アメリカ	75.8%	75.8%
2 イギリス	4.1%	4.1%
3 カナダ	3.2%	3.2%
4 フランス	3.1%	3.1%
5 スイス	2.7%	2.7%
6 ドイツ	2.4%	2.4%
7 オーストラリア	2.0%	2.0%
8 オランダ	1.3%	1.3%
9 イタリア	1.0%	1.0%
10 中国	0.9%	0.9%

◆組入上位10銘柄

(組入銘柄数:1227銘柄)

銘柄	国	業種	比率
1 アップル	アメリカ	情報技術	5.2%
2 エヌビディア	アメリカ	情報技術	4.6%
3 マイクロソフト	アメリカ	情報技術	4.5%
4 アマゾン・ドット・コム	アメリカ	一般消費財・サービス	2.5%
5 メタ・プラットフォームズ	アメリカ	コミュニケーション・サービス	1.8%
6 アルファベット(A)	アメリカ	コミュニケーション・サービス	1.5%
7 アルファベット(C)	アメリカ	コミュニケーション・サービス	1.3%
8 イーライリリー・アンド・カンパニー	アメリカ	ヘルスケア	1.2%
9 ブロードコム	アメリカ	情報技術	1.1%
10 JPMオルガン・チェース・アンド・コ	アメリカ	金融	1.0%

●「組入上位10カ国」は、マザーファンドでの組入上位10カ国です。法人登録国で集計しています。本レポートでは、「アメリカ」「イギリス」が上位にあることから、この地域の経済圏の影響を相対的に大きく影響を受けることが分かります。

●「組入上位10銘柄」は、マザーファンドでの組入上位10銘柄です。上位の銘柄ほど基準価額の変化に与える影響が大きくなる傾向にあります。本レポートでは、「業種」から情報技術・コミュニケーションサービスなど、いわゆる「成長株」が多いことが確認できます。更に、1,200を超える銘柄に投資しており、多くの銘柄に分散されていることが確認できます。

● 当資料は、各運用会社の運用報告をはなさく生命が
 ● 特別勘定の詳細については、「特別勘定のしおり」等を
 ● ご負担いただく費用や投資リスクについては、P.20～2

3. 用語集

運用関係費

特別勘定の投資対象となる投資信託の信託報酬など、特別勘定の運用にかかわる費用のことをいいます。

運用レポート

相場環境や特別勘定の運用実績を記載した資料です。当社では、月次および年次でホームページに掲載しております。

為替ヘッジ

外貨建資産投資に伴う為替変動リスクを回避する手段として為替ヘッジがあります。具体的には、為替先物予約等を活用して、円換算時の為替レートを予約します。

ただし、為替ヘッジを行うためには、ヘッジコストがかかることになり、その分パフォーマンスに影響を与えることとなります。

基準価額

投資信託に組み入れている株式や公社債などをすべて計算日の時価で評価し、債券の利息や株式の配当金などの収入を加えて資産総額を算出します。そこから投資信託の運用に必要な経費等を差し引いて純資産総額を出し、さらに計算日の受益権口数で割ったものです。

多くの投資信託では、基準価額は当初1万口1万円で設定され、その後の運用結果により変動します。

資産配分比率

資産を分散させて運用する場合に、全体を100%として振り分ける比率のことを指します。

たとえば「バランス50型」の場合、国内株式30%、外国株式20%、国内債券35%、外国債券10%、短期金融資産5%とすることを基本としています。時価変動等によって比率が変わった場合は一定の規律に従い、基本資産配分に戻すリバランス（資産の再配分）を行います。

積立金

特別勘定で管理・運用されている資産のうち個々のご契約にかかわる部分をいいます。積立金額は、特別勘定の運用実績により毎日変動します。

騰落率

変動幅を百分率で表記したもので、ある期間の始めと終わりとで価格がどれだけ増減したかを表したものです。例えば、値が100だったものが110になれば10%の上昇（騰落率10%）、95になれば5%の下落（騰落率-5%）となります。

特別勘定

変額保険にかかわる資産の管理・運用を行う勘定のごことで、他の保険種類にかかわる資産とは区分し独立して管理・運用を行います。

変額保険

運用実績に応じて保険金や解約払戻金が増減する保険のことを指します。お預かりした保険料は、特別勘定を通じて、投資信託などで運用されます。

ベンチマーク

「基準」という意味で幅広く使われる言葉で、資産運用に関連しては、運用の目標基準あるいは運用成績の相対的な評価基準を示します。

なお、インデックスファンドに代表されるパッシブ運用においては、定められたベンチマークの動きに連動する運用成果を目標とします。

変動率

価格の変動性を指します。価格変動が大きければ「変動率が高い」、価格変動が小さければ「変動率が低い」とされ、運用を行う際の重要な判断指標となります。

保険関係費

お払込みいただいた保険料もしくは積立金から控除される諸費用のことをいいます。

ユニット価格

各特別勘定資産（例：バランス50型、先進国株式型など）の1ユニット（1口）あたりの価格のことをいいます。

各特別勘定資産の評価を反映して毎日計算されます。

ユニット数

各特別勘定資産における契約者の保有分を表す単位数（口数）のことをいいます。